

# 南小だより



令和4年1月28日  
亀山市立亀山南小学校

No.23

回覧

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学校ではアンケートの集約をもとに今年度の学校教育活動の振り返りを行っています。学校経営方針に掲げた重点目標ごとにアンケート結果等を指標としつつ自己評価し、学校運営協議会（書面開催に変更）でその学校自己評価について関係者評価をしていただきます。まずは、アンケート集計結果をみなさまにもご報告させていただきますので、ご覧ください。（裏面参照）また、今年度はQRコードを活用した電子化も導入しました。ご協力ありがとうございました。



## 学校教育活動を振り返って…（学校評価アンケートより）

アンケートはそれぞれの設問に対して4段階尺度A（そう思う）B（ややそう思う）C（あまりそう思わない）D（そう思わない）での回答をいただきました。今年度も、この年度比較を“A評価の割合”で実施しました。A評価とB評価を合わせた“肯定的評価”では比較的良好な結果をいただいておりますが、結果をより真摯に受け止め、A評価を増やすことを学校の課題とするためです。はっきりと自信をもって「そう思う」という回答をいただけるよう学校としても取り組んでいきたいと思っております。

### < 児童のアンケート結果から >

「友達と仲良くしている」の評価が向上し、肯定的評価は100%となっている。「学校が楽しい」の肯定的評価も96%となっており、全体的には高いが、否定的な回答をした4%の児童にしっかりと対応していけるよう取り組んでいきたい。



### < 保護者のアンケート結果から >

児童については「学習理解」「家庭学習」「読書」の項目は、横ばい傾向であるが、多くの項目でA評価の低下が見られる。特に、「学校に行くのが楽しみ」「友だちと仲良く」「人と関わり、生きる力」「体力」が大きく低下している。また、学校に対しても、「児童への指導面」「学校のコミュニケーション力」など多くの項目で昨年を下回る評価となっており、危機感をもって、教育内容や指導のあり方を見直し、感染対策に配慮した上で、コミュニケーションを大切にしたい学校づくりにさらに取り組むことが大切であると考えている。

### < 地域のアンケート結果から >

学校運営協議会委員と各ボランティアの方々にアンケートをお願いした。昨年よりたくさんの項目でA評価の向上が見られた。コロナ禍ではあったが、「創立40周年行事兼地域ふれあい集会」など、感染対策を行った上で行事や活動を昨年よりは多く実施できたことがよかったと考えられる。今後も、学校運営協議会を核として熟議を重ねていきたい。

### < 教職員のアンケート結果から >

保護者、児童と比較して「学習の理解」「学校が楽しい」「友人関係」などは低い結果となっている。いずれの項目も肯定的評価で見ると90%以上となる。教職員は心配な面がある児童が目につくか、A評価とはしばらく、B評価を選択することが多いと考えられる。また「意欲的に取り組める環境」「会議の有効性」「OJT活動」などでA評価が向上しており、多くの項目で肯定的評価も向上している。しかし、「働き方改革」に伴う総勤務時間の縮減の課題などは存在しており、引き続き改善に努める。

